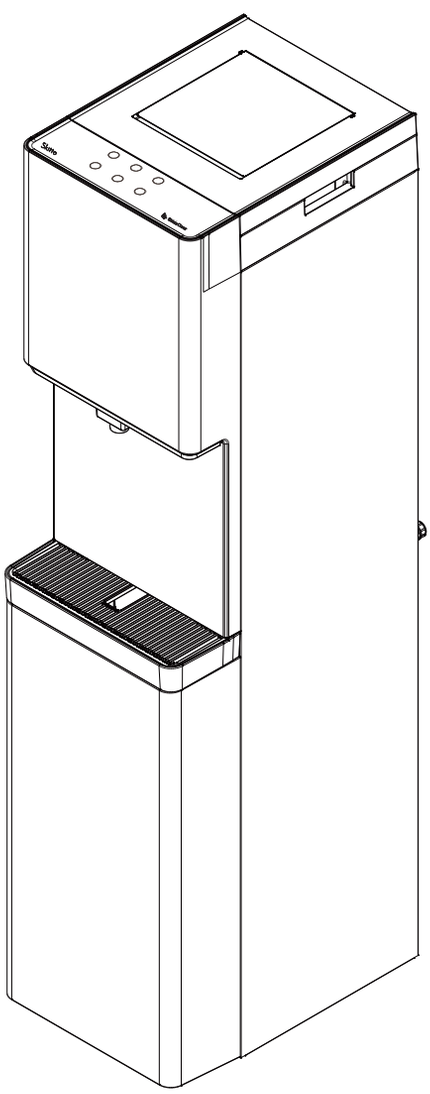
取 扱 説 明 書

型式
MMT-100



このたびは浄水型ウォーターサーバーMMT-100をご利用いただきありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」(P2～P3)を必ずお読みください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

1 安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・2
2 その他安全上のご注意 ・・・・・3
3 各部のなまえとはたらき ・・・4・5
4 設置方法 ・・・・・・・・・・・5・6・7
5 ご使用にあたり ・・・・・・・・・・7・8
6 お手入れ方法 ・・・・・・・・・・9・10
7 故障かな？と思った時は ・・・11
8 エラー表示 ・・・・・・・・・・・・・11
9 仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
10 修理とアフターサービス ・・・・12

日本国内専用
Use only in Japan

1 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害・損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

⚠ 警告 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

⚠ 注意 「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。

中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

※重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
※損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■設置時

⚠ 警告

必ず守る
水平で安定した所に設置する
振動や騒音、転倒、落下による事故やケガ、感電、火災、やけどの原因となります。

必ず守る
電源は交流単相100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使ったりすると、火災・感電の原因になります。

禁止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて通電したり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

アース接続
アースを接続する
漏電時に感電する原因になります。

必ず守る
転倒防止ワイヤーを取り付ける
転倒による事故やケガの原因となります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

必ず守る
電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。

必ず守る
電源プラグの刃や刃の取り付け面に付着したホコリは、定期的に拭き取る
火災の原因になります。

禁止
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
可燃性ガスの漏れる恐れがある場所や、シンナー等の揮発性の高い溶剤等を近くで使用しない
爆発や火災の原因になります。

禁止
トレイを引出して大きな容器を仮置きする場合は、容器に必ず手を添えて出水を行う
容器落下による、やけど、けがの原因になります。

⚠ 注意

禁止
屋外や湿気の多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる所、直射日光が当たる場所や、発熱物のそばに設置しない
機器の変形・機能の低下・漏電の原因となります。

禁止
設置後や移動時は1時間は電源を入れない
冷蔵庫と同じで冷却触媒を安定させるための時間です。

禁止
設置するときは、側面10cm以上、背面15cm以上のスペースを設ける
蒸気や熱気で機器の機能低下、周りの製品に損害を与える原因となります。

禁止
設置後、製品の内部やノズルからの水漏れがないか確認し、異常がある場合、使用を中止する
火災・感電の原因になります。

禁止
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端のプラグを持って引き抜く
感電やショートして発火の原因になります。

2 その他安全上のご注意

必ずお守りください

■使用時

⚠警告

禁止
分解・改造・修理はしない
火災・感電・けがの原因になります。

必ず守る
注水するときは、コップなど水受けトレーの上に置かず、手に持って注水する
水の入ったコップなどが倒れ、感電・やけど(温水注水時)の原因になります。

禁止
背面の放熱部から棒や指をいれない
高温の温水タンクでやけどしたり、感電の原因になります。

必ず守る
点検やお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

禁止
子供など取り扱いに不慣れな方だけで使用されたり乳幼児に触れさせたりしない
感電・けが・やけどの原因になります。

必ず守る
温水注水時は、熱湯が出るので注意する
やけどの原因になります。

必ず守る
日本国内でのみ使用する
日本国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火・発煙・焼損の原因になります。
この製品は日本国内専用です。

必ず守る
焦げ臭い等の異常がある場合は、すぐ運転を停止し、電源プラグを抜いてください
故障や感電、火災の原因になります。

⚠注意

必ず守る
電源プラグは抜いたままにしない
抜いたまま放置しますと、水質が変化し、不快な臭い、味の低下の原因になります。

必ず守る
背面の放熱部の埃は定期的に取り除く
冷却性能低下の原因になります。

必ず守る
火気を近づけない
感電・漏電の原因になります。

必ず守る
水道法の水質基準に適合した水を使用する
飲料用としての基準に合格しない水を使用した場合、体調を損なう原因になります。

必ず守る
浄水タンク満水時には、絶対に本体を揺らしたり、強い衝撃を与えない
浄水タンクから水がこぼれ、床面を傷める原因になります。

必ず守る
長期間使用しない場合は浄水タンクを外して製品内の水を抜き、電源プラグもコンセントから抜く
水質変化と絶縁体劣化による感電や漏電の原因になります。

必ず守る
製品の上に物を置いたり、乗ったり、寄りかかったり、揺すったり、傾けたりしない
転倒してけがの原因になります。
浄水タンクから水がこぼれ、床面を傷める原因になります。

必ず守る
カートリッジは定期的に交換する
カートリッジが届いたら、お水の使用量に関わらず交換する。

必ず守る
2日以上使用しなかった場合、給水タンクの水は入れ替え、冷水、温水はそれぞれ500mlずつ捨て水をしてから使用する

■異常時・お手入れ

⚠警告

必ず守る
点検やお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
漏電による感電の原因になります

禁止
水をかけたり、水洗いしない
漏電やショートを起し、感電・火災・故障の原因になります。
水がこぼれた場合は、すぐに拭き取ってください。

必ず守る
災害時に製品が水没した場合などは、動いても使用を中止し、電源プラグを抜いてください
感電・火災の原因になります。

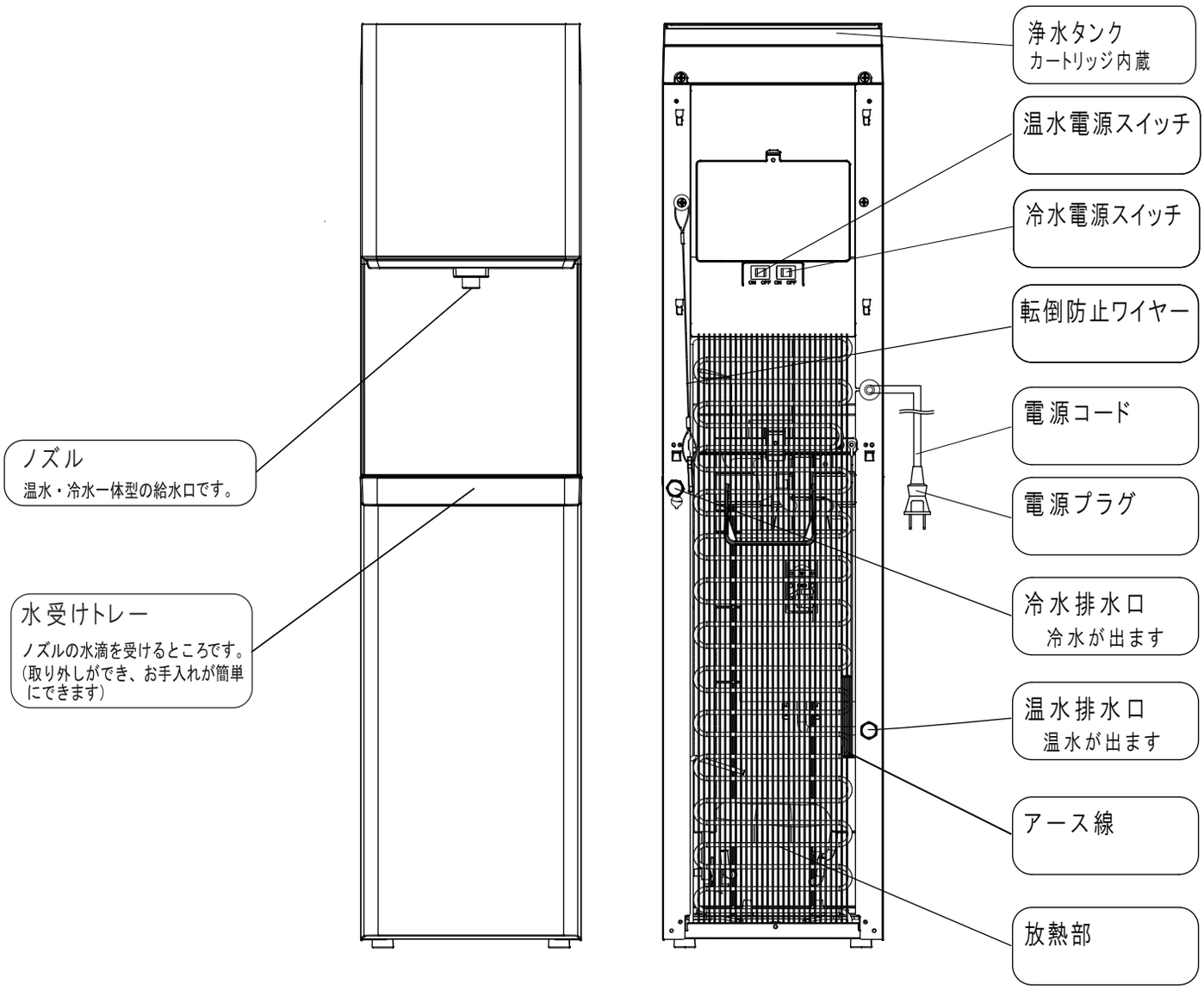
禁止
お手入れするときは、シンナー・ベンジンで拭いたり、殺虫剤をかけたり、塩素系・酸性タイプの洗浄剤を使ったりしない
ひび割れ・感電・引火・有毒ガス発生の原因になります。

必ず守る
温水タンクの水抜きを行う場合、電源プラグを抜いてから3時間放置(温水が冷めてから)した後に行う
温水タンク内は熱湯状態ですので、やけどの原因になります。

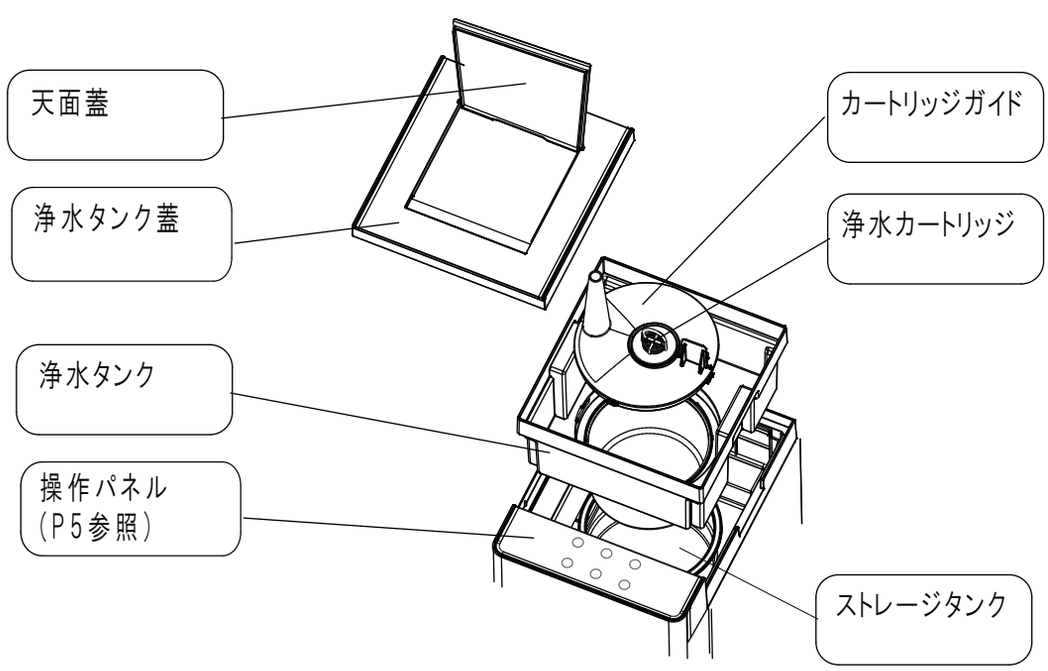
必ず守る
動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため、電源プラグを抜いてください
漏電やショートを起し、感電や火災の原因になります。

3 各部のなまえとはたらき

本　体

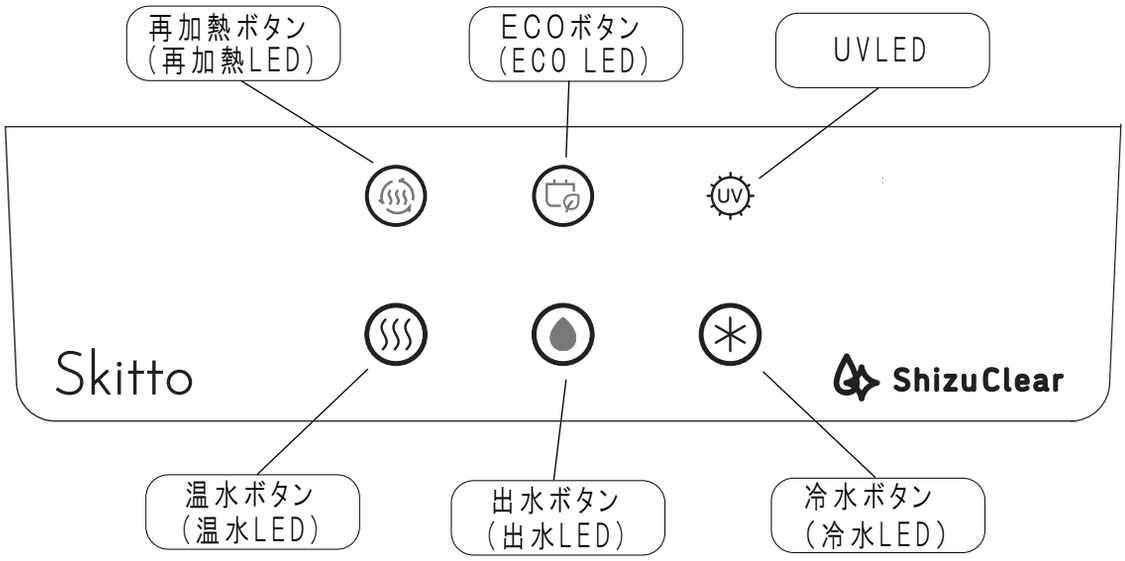


浄水タンク



操作パネル

使用時に使うボタン･LEDを説明します。



再加熱ボタン（再加熱LED）

3秒長押し

・長押し(約3秒)すると、再加熱します。
（約90℃まで加熱します）
・再加熱中はランプが点滅し、
約90℃以上で再加熱LEDが点灯します。
温度が下がると再加熱LEDが消灯します。

温水ボタン（温水LED）

・温水ボタンを約3秒押すと(チャイルドロックを解除)、温水LEDと出水LEDが点灯します。
・出水ボタンを押すと温水がノズルから出ます。

出水ボタン（出水LED）

・出水ボタンを押すと点灯しているLEDの水がノズルから出ます。

UVLED

・冷水タンク内でUV殺菌ランプが点灯している時にUVLEDが点灯します。

冷水ボタン（冷水LED）

・冷水ボタンを押すと、冷水LEDと出水LEDが点灯します。
・出水ボタンを押すと冷水がノズルから出ます。

ECOボタン（ECO LED）

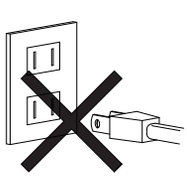
・ECOボタンを押すとECOモードになり、ECO LEDが点灯します。
・もう一度ECOボタンを押すと通常モードになり、ECO LEDが消灯します。
・ECOモードから通常モードに切り替えるために、ECOボタンを押すと、温水LEDと冷水LEDが点滅し、設定温度になると消灯に変わります。

4 設置方法

1. 製品を設置します
・製品を箱から出してください。中袋をはずし、コンセントのある場所へ設置してください。

⚠ 注意

禁止　すぐにコンセントにつながないでください
故障の原因になります。

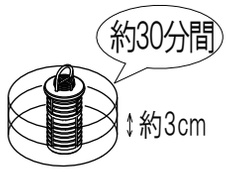


⚠ 注意

必ず守る
・平らで安定した場所に壁から側面は10cm、背面は15cm以上離して設置してください。
・設置後の本体の移動は電源プラグを抜いてから30分以上経過後に行ってください。
また移動時は本体を45度以上傾けないでください。
・アース端子は必ず最初に接続してください。
・温水･冷水排水口が閉まっているか確認してください。
・屋外や直射日光の当たる場所には設置しないでください。

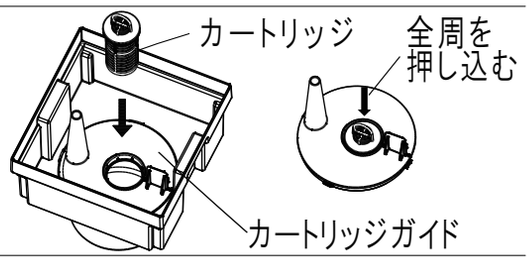
設置方法（つづき）

2. カートリッジのご使用前の準備
・カートリッジを袋から取出し、セットする前に大き目の別容器に底から約3cm以上水道水を入れ、カートリッジを約30分間浸します。

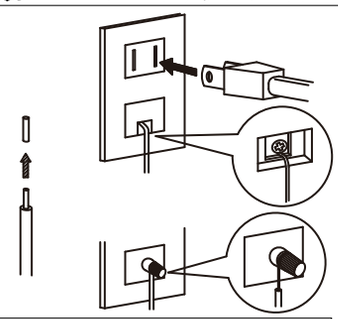


⚠注意
禁止
・カートリッジは中性洗剤などで洗わないでください。
・カートリッジは必ず純正をお使いください。

3. カートリッジを差し込む
・水に約30分間浸したカートリッジを浄水タンクの中央部に水平に差し込む。
（カートリッジが浮かないように全周しっかりと押し込んでください。）



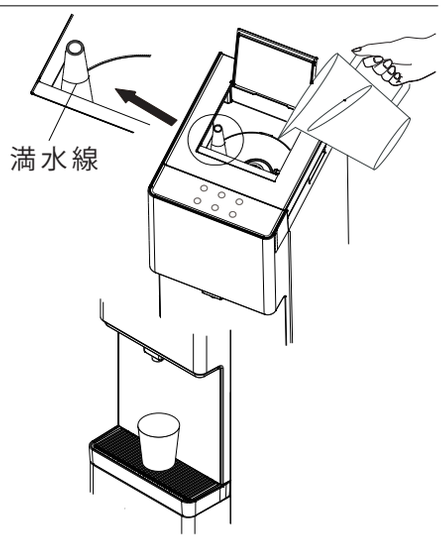
4. アース線を取り付ける/電源プラグを差し込む
・万一の感電事故防止のため、アース線を取付ける。
アース端子がある場合：アース線をアース端子に接続する。
アース端子がない場合：法的有資格者によるD種接地工事を行ってください。
・電源プラグをコンセントに差し込む。
・差し込み後10秒の間、全てのLEDが点滅し、ブザーが鳴ります。



⚠警告
必ず守る
アース線を水道の蛇口やガス管、電話のアース線や避雷針へは絶対に取り付けないでください。
漏電時に引火や感電する原因になります。

⚠警告
必ず守る
コンセントのタコ足配線は発火し、火災の恐れがありますので単独で使用してください。

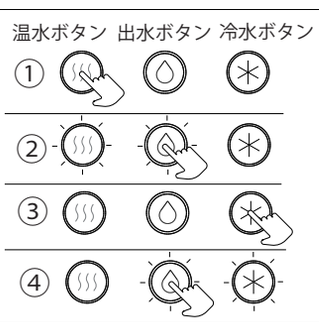
5. 水道水を入れる
・製品にセットされた浄水タンクにピッチャーで満水線まで水道水を給水する。
※満水線は、カートリッジガイドから立ち上がったパイプの上端から12mmの位置にあります。
浄水タンクの水が減ってきましたら、再度満水線まで給水する。
（2回程度、計約10L）
約30分で本体内の冷水タンク、温水タンクに水が溜まります。
・吐水受けのため、水受けトレーの上にコップを置く。



⚠注意
禁止
満水線以上に給水しないでください。
水漏れの原因になります。

⚠警告
必ず守る
水道水の水質基準に合格した水をお使いください。
飲料用としての基準に合格していない水を使用した場合、体調を損なう恐れがあります。

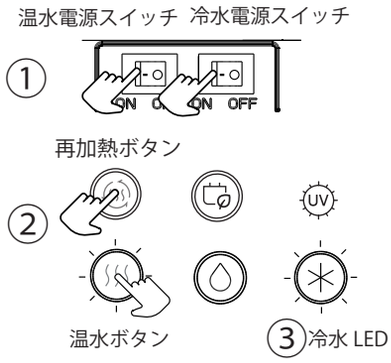
6. エアー抜き(空気抜き)をする
①操作パネルの温水ボタンを約3秒長押しする。
②温水LEDと出水LED点灯後、水が出るまで出水ボタンを押す。
③冷水ボタンを押す。
④冷水LEDと出水LED点灯後、水が出るまで出水ボタンを押す。
温水、冷水の水が安定して出ましたらエアー抜きは完了です。
再度浄水タンクへ満水線まで水を給水してください。



7. 捨て水をする
冷水、温水それぞれ2Lずつ捨て水をしてください。
捨て水が終わった後、再度満水線まで給水してください。

設置方法（つづき）

8. 使用可能状態にする（『7. 捨て水をする』を必ず行なってください。）
   ①背面の冷水電源スイッチと温水電源スイッチをON状態にする。
   ②温水ボタンと再加熱ボタンを同時に約5秒間長押しして温水タンクを加熱状態にする。温水LEDが点滅し、温水が設定温度になると消灯に変わります。約40分で設定温度になります。
   ③背面の冷水スイッチON直後に冷水タンクの冷却を開始します。冷水LEDが点滅し、冷水が設定温度になると消灯に変わります。約2時間で設定温度になります。
   （環境条件により時間は異なります。）



9. 設置後の確認
   浄水タンク付近、ノズル付近、製品裏面より水漏れがないかチェックしてください。

⚠注意

禁止　温水を出す時は手にかけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。温水ボタンにロックを採用していますが、お子様だけの使用は行わないでください。

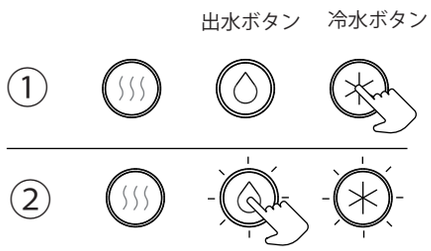
5 ご使用にあたり

2日以上使用しなかった場合、給水タンクの水は入れ替え、冷水、温水それぞれ500mlずつ捨て水をしてから使用してください。

1. 冷水を飲む
   ①冷水ボタンを押すと冷水LEDと出水LEDが点灯します。
   ②出水ボタンを押すと冷水が出ます。

⚠注意

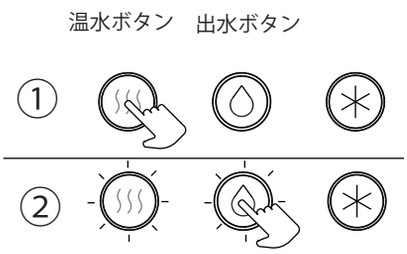
必ず守る　浄水タンクへの水道水の給水は早めに行ってください。
長時間放置しますとタンクの水質の変化や劣化が生じ体調を損なう恐れがあります。



2. 温水を飲む
   ①温水ボタンを約3秒間長押しすると温水LEDと出水LEDが点灯します。（チャイルドロックの解除）
   ②出水ボタンを押すと温水が出ます。
   お湯が跳ねることがありますので、コップは手に持ってノズルの近くで操作してください。

⚠注意

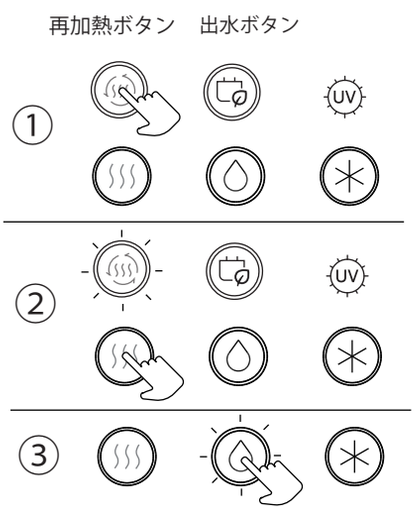
禁止　温水を出す時は手にかけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。お子様だけの使用はさせないでください。



3. 再加熱する
   熱めのお湯が必要なときにご使用ください。
   ①再加熱ボタンを約3秒間押す。
   LEDが点滅し再加熱が始まります。
   ②約5分程度で再加熱が完了し、LEDが点灯に変わります。
   温水ボタンを約3秒間長押しすると出水LEDが点灯します。
   （チャイルドロック解除）
   ③出水ボタンを押すと熱水がノズルから出ます。

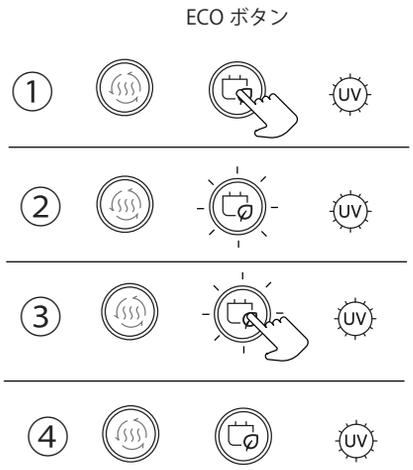
⚠注意

必ず守る　再加熱時は、温水の温度が約90℃まで上がります。やけどにご注意ください。



4. ECOモードにする

①ECOボタンを押すと温水、冷水共にECOモードに変わります。
②ECO LEDが点灯します。
ECO LED点灯中は、弱温、弱冷の水がノズルから出ます。
③ECOボタンをもう一度押すと温水、冷水共にECOモードは解除されます。
④ECO LEDは消灯します。

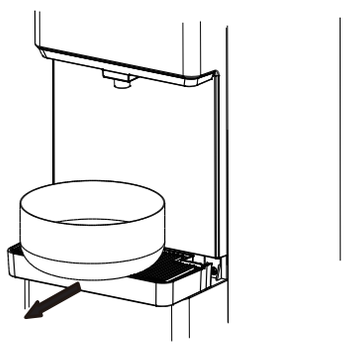


温水の温度は以下のように設定されています。
・通常モード:約81～86℃
・ECOモード:約72～77℃

冷水の温度は以下のように設定されています。
・通常モード:約5～7℃
・ECOモード:約10～15℃

5. トレイの引出し機構を使用する

・鍋などの大きな形状の容器をご使用の場合には、トレイを前に引出して仮置き用として使用することが出来ます。



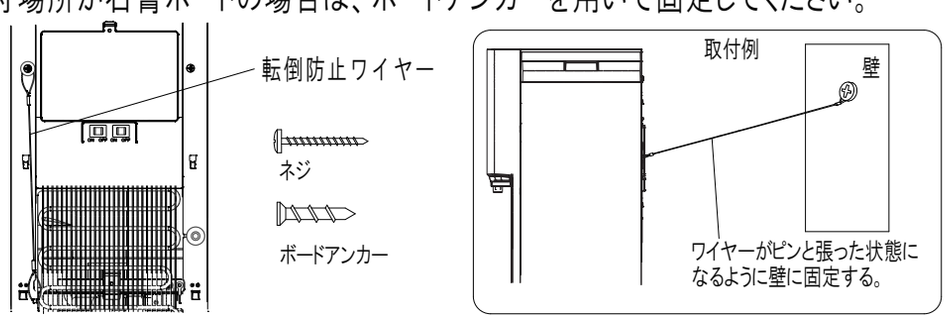
⚠警告

必ず守る

トレイを引出し、大きな容器をご使用の場合は必ず容器に手を添えて吐水を行ってください。
容器落下による、やけど、けがの原因になります。

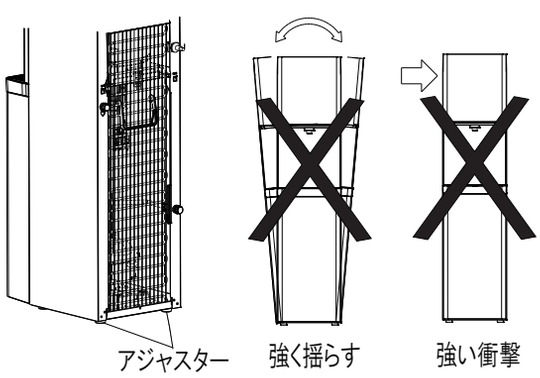
6. 転倒防止ワイヤーの取り付け

・衝撃などで本体が転倒した場合に、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、設置場所が決まりましたら、製品背面に取り付けている転倒防止ワイヤーの片側を安定した場所(壁や柱)にネジで確実に固定してください。
取付場所が石膏ボードの場合は、ボードアンカーを用いて固定してください。



7. ご使用時の注意

①本体設置時に、本体下部後方のアジャスター2箇所を調整して、本体のガタツキをなくしてください。
②本体を強く揺すらないでください。
③本体に強い衝撃を与えないでください。
浄水タンク満水時に水がこぼれるおそれがあります。



⚠注意

必ず守る

浄水タンク満水時には、絶対に本体を揺らしたり、強い衝撃を与えない。
浄水タンクから水がこぼれ、床面を傷める原因になります。

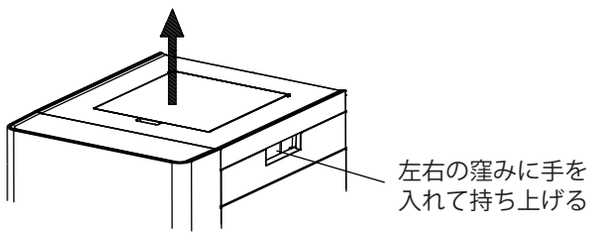
6 お手入れ方法

■浄水タンクのお手入れ

・週に一度は浄水タンクを水道水で洗ってください。
（カートリッジは必ず外してから、浄水タンクを洗浄してください。）

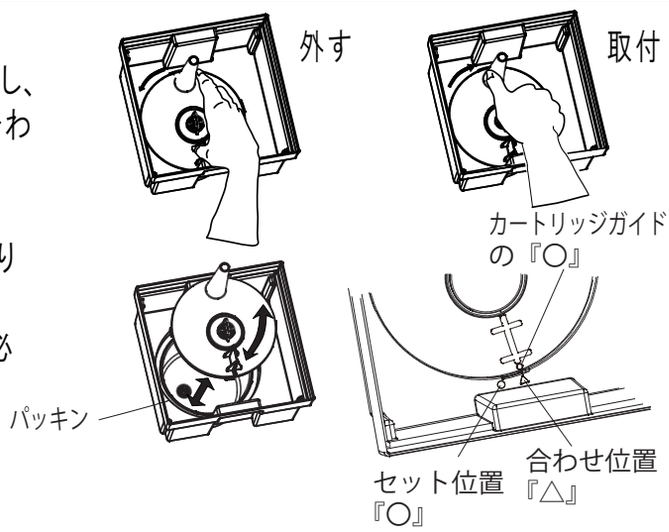
1. 浄水タンクの取外し

・本体左右の窪みに手を入れて上方向に持ち上げると外せます。
浄水タンクを外しても、止水用の弁パッキンが、内蔵されていますので浄水タンク内に水が残っていても水は漏れません。



2. カートリッジガイドの取外し（取付け）

・カートリッジガイドの突起部を持ち反時計回りに回し、カートリッジガイドの『○』を浄水タンクの『△』に合わせカートリッジガイドを上に持ち上げて外す。
・取付けは、逆の手順でカートリッジガイドの『○』を浄水タンクの『△』に合わせてはめ込み、時計回りに浄水タンクの『○』の位置まで回す。
取付時には、浄水タンクにパッキンがあることを必ず確認してください。

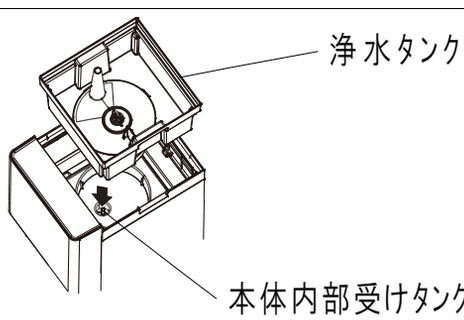


3. カートリッジの取外し（取付け）

・カートリッジの上部持ち手を持って上方向に引き抜く。
・カートリッジの取付けは、浄水タンクの中央部のカートリッジガイドの中に水平に差し込む。（カートリッジが浮かないように全周しっかりと押し込んでください。）

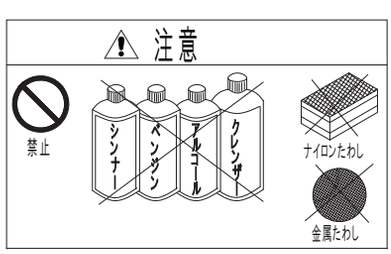
4. 浄水タンクの取付け（タンク洗浄後）

・浄水タンク下部の吐水口が、本体内部の受けタンク穴にはまるように、浄水タンクを上からはめ込む。
浄水タンクが、しっかりとはめ込まれていないと水漏れの原因となりますので、本体上部との隙間が発生しない様にはめ込んでください。



■本体/水受けトレーのお手入れ

・汚れがひどい場合は、薄めた食器用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取り、最後に水を含ませた、柔らかい布をよく絞り拭き取ってください。
・ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザー、ナイロンたわし、金属たわしなどは使用しないでください。
ひび割れや変色、キズつきの原因になります。
・トレイは、ロックが外れるまで前に強く引出し、上方に持ち上げると取外せます。
お手入れ後は、トレイを上方から裏面の突起が本体トレイ取付部の窪みに入るように置き、強く押し込むと取付けできます。



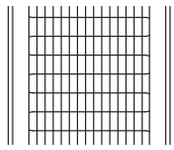
お手入れ方法(つづき)

■ノズル、ストレージタンクのお手入れ

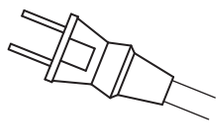
・清潔なふきんや乾いたタオル等で汚れを拭き取ってください。
(汚れがひどい場合には、市販のアルコール系衛生剤で消毒してください)

■背面部

・付着した綿ホコリなどを掃除機で吸った後、水を含ませた柔らかい布をよく絞り拭いてください。



■電源コード/プラグ



・電源コードやプラグに亀裂がないか、またコードが発熱していないか、重い物の下敷きになっていないか、点検してください。
感電事故や火災の原因になりますので、普段の使用時からこまめに点検してください。

・お手入れが終了し、電源プラグをコンセントに差し込んだ後は、P7「8. 使用可能状態にする」の内容にしたがってください。

■水漏れの点検

・浄水タンクがストレージタンクに十分に差し込まれていない場合や温水および冷水排水口の排水キャップナットの締りが不十分ですと水漏れを起こします。定期的に製品の位置をずらし背面や底部に水が漏れていないか点検してください。

■長期間使用しない場合

・長期間使用しない場合は、本体背面の温水電源スイッチ、冷水電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてタンクの水抜きを行ってください。
電源プラグを抜いた状態で長期間放置しますとタンク内の水質の変化や劣化が生じます。
浄水タンクを本体から外し、温水タンクと冷水タンクの水を必ず抜いてください。

⚠警告

必ず守る

温水タンクの水抜きを行う場合、電源プラグを抜き、3時間放置(温水が冷めてから)してから行う。
温水タンク内は熱湯状態ですので、やけどの原因になります。

⚠注意

必ず守る

冷水タンクの水抜きを行う場合、電源プラグを抜き、冷水タンク内が常温に戻るまで放置してから行う。
設置場所、環境により冷水タンクが凍結し、排水が十分に行なえない場合があります。解凍後、排水してください。

■タンクの水抜き

・水抜きをする場合、バケツ等をご用意していただき背面の温水排水口および冷水排水口から排水キャップナットと排水キャップパッキンを外して、それぞれ水抜きをしてください。

⚠警告

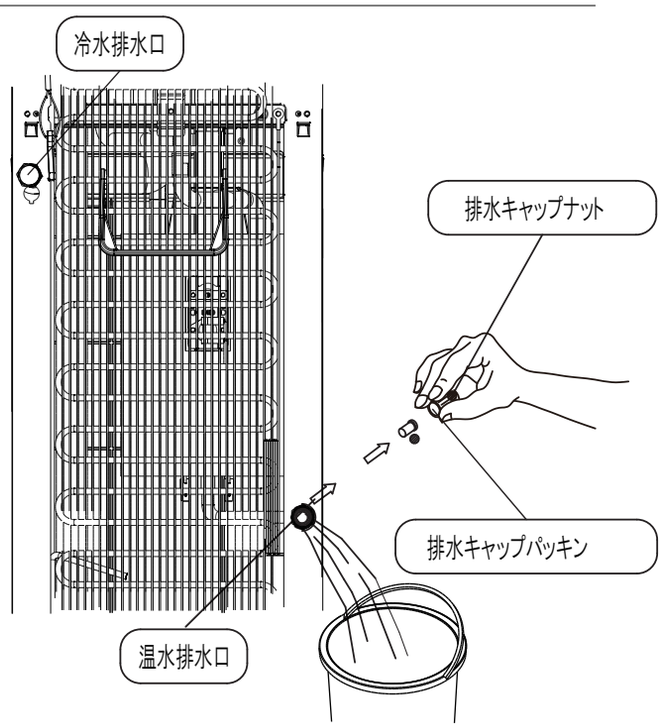
必ず守る

温水タンクの水抜きを行う場合、電源プラグを抜き、3時間放置(温水が冷めてから)してから行う。
温水タンク内は熱湯状態ですので、やけどの原因になります。

⚠注意

必ず守る

冷水タンクの水抜きを行う場合、電源プラグを抜き冷水タンク内が常温に戻るまで放置してから行う。
設置場所、環境により冷水タンクが凍結し、排水が十分に行なえない場合があります。解凍後、排水してください。



7 故障かな？と思った時

このようなとき	確認いただきたいこと	処置のしかた
水が出ない	浄水タンクが空になっていませんか？	浄水タンクに水を給水してください。
	温水タンクのエアー抜きが不完全になっていませんか？	温水ボタンを約3秒間長押しし、チャイルドロック解除後出水ボタンを水が出るまで押してください。
	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグを点検してください。
	停電またはブレーカーが切れていませんか？	ご自宅・オフィス等の電気の配電盤を点検してください。
冷水・温水が出ない	使用可能状態にしていますか？(ヒーターが入っていますか)	背面の冷水電源スイッチと温水電源スイッチをON状態にしてください。 **ヒーターを使用状態にするため、温水ボタンと再加熱ボタンを同時に約5秒間長押ししてください。**
	冷水の出し過ぎ又は冷却時間が短かすぎませんか？	一度に大量に出さないようにするか時間を置いて使用してください。
	設置場所の温度が高くありませんか？	直射日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。
	背面の放熱部にホコリがつまっていませんか？	背面放熱部を清掃してください。
	製品の背面が壁に近く設置されていませんか？	背面を壁より15cm以上離して、背面放熱部からの熱が逃げるように設置し直してください。
	温水の出し過ぎ又は加熱時間が短かすぎませんか？	一度に大量に出さないようにするか時間を置いて使用してください。
水が漏れている	温水・冷水排水口から水が漏れていませんか？	温水・冷水排水口のキャップナットをしっかり閉めてください。
	浄水タンクが不完全に差し込まれていませんか？ 弁パッキンにゴミが付着していませんか？	浄水タンクをきっちり最後まで差し込んでください。 浄水タンクを洗浄し、ゴミを取り除いてください。
	本体のガタツキはありませんか？ 浄水タンクが満水の時に、本体を強く揺らしませんでしたか？ 浄水タンクが満水の時に、本体に強い衝撃を与えませんでしたか？	本体下部後方のアジャスター2箇所を調整してガタツキをなくしてください。 本体を強く揺らさないでください。 本体に強い衝撃を与えないでください。
騒音がする	製品本体が傾いていませんか？	製品本体を水平に設置してください。
	壁や他の製品に触れていませんか？	製品本体を壁や他の製品から離してください。

8 エラー表示

製品に何らかの異常が発生したときは、操作パネル部のランプに表示されます。

エラー表示	原因	対処方法
再加熱ランプと温水ランプが交互に点滅する	設置後電源を入れた状態(使用状態にせず)で3時間放置されていませんか？	電源プラグをコンセントから外し、再度コンセントに差し込み、7ページの手順で使用可能状態にしてください。
	温水タンク又は冷水タンクの制御不良。(各スイッチの動作ができなくなります。)	電源プラグをコンセントから外し、ＴＯＫＡＩアクアお客さまセンター（０１２０－３３８－１１３）にご連絡ください。

9 仕様

名称	ウォーターサーバー	
型式	MMT-100WH/BK	
定格電圧	単相100V(50/60Hz)	
定格消費電力	加熱400W	
	冷却 60W	
製品寸法(高さx幅x奥行き)	1050mm X 250mm X 350mm（突起部含まず）	
重量	約17Kg	
浄水タンク容量	約6.5L（浄水部1.5L）	
タンク容量	温水タンク:1.8L	
	冷水タンク:2.6L	
温水温度設定	約81～86℃　　再加熱時:約90℃	
冷水温度設定	約5～7℃	
冷媒	HFC-134a	
電源コード	有効長:1.8m	
殺菌灯	4W	
ECO温水温度設定	約72～77℃	
ECO冷水温度設定	約10～15℃	
使用流体	水道法水質基準に適合した水	
材質の種類	浄水タンク:ポリカーボネイト・ポリプロピレン・シリコンゴム・ステンレス	
	カートリッジ:ポリプロピレン	
ろ材の種類	活性炭、不織布	
ろ過流量	約0.5 リットル/分	
浄水性能	遊離残留塩素	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	総トリハロメタン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	CAT(農薬)	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	2-MIB(カビ臭)	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	溶解性鉛	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	ブロモジクロロメタン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	ジブロモクロロメタン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	ブロモホルム	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	テトラクロロエチレン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	トリクロロエチレン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	クロロホルム	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	シス及びトランス1・2ジクロロエチレン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	ベンゼン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	陰イオン界面活性剤	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	フェノール類	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
	ジェオスミン	総ろ過流量 600L 除去率80% JIS S 3201試験結果
ろ材の交換時期の目安	6ヶ月(1日 約3.3L使用の場合)	
使用上の注意	○水道水の水質基準に合格した水をお使いください。 ○井戸水では使用しないでください。 ○新しいカートリッジの使用開始時は、取扱説明書に記載の「設置方法」、「ご使用にあたり」を必ず行ってください。 ○ろ材の交換時期の目安は、使用水量、水質、水温などにより異なります。 ○35℃以上の温水をろ過しないでください。 ○製品から出水された浄水は早めにお使いください。 ○凍結のおそれのある場所には設置しないでください。 ○養魚用などには使用しないでください。 ○使用済のカートリッジは、自治体の分別指定に従って廃棄してください。	

10 修理とアフターサービス

電源プラグを抜いて、TOKAIアクアお客さまセンター(0120－338－113)にご連絡ください。

■修理を依頼される時は次の事項をお知らせください。

(1)お名前(会社名)及びご住所 (2)担当者さまへのご連絡先 (3)不具合内容の詳細

240710